

～下記の研究を行います～

『国立病院機構内に組織した『病理診断ネットワーク』 によるデジタルパソロジーをつかった病理診断ダブルチ ェックの実現性と有効性に関する研究』

【研究の主宰機関】 国立病院機構四国がんセンター 病理科

【研究代表者】 寺本典弘

【研究の目的】 国内最大の病院群である国立病院機構（NHO）の特性を活かし、Peer to Peer型のデジタルパソロジーを用いた遠隔病理診断を行うことを目指す『NHO 病理診断ネットワーク』を組織し、このNHO 病理診断ネットワークが、デジタルパソロジーを用いたダブルチェックを、適切な診断所要時間と望ましい精度で、遂行できるかどうか検証することにより、その実現性と有用性を実証することを目的としています。

【研究の期間】 研究許可日～2022年3月31日

【研究の方法】 他施設で登録された病理標本をヴァーチャルスライドに変換し、病理診断依頼書、病理診断報告書とともに個人情報削除した上で、セキュリティの高いVPN(仮想プライベートネットワーク)上のサーバーに登録されます。それに対して約10名の病理医が交代で病理診断を行い、期日内に診断できた割合と診断が正確であった割合を評価します。

●対象となる患者さん

当センターは、他施設からの病理標本を診断のみの実施のため、当センターの患者さんの病理標本は対象に該当しません

●利用する試料・情報の種類

試料：なし

●研究組織

①研究を実施する全ての共同研究機関及び研究責任者

国立病院機構	四国がんセンター	病理科	寺本典弘
国立病院機構	大阪医療センター	臨床検査診断部	眞能正幸
国立病院機構	九州がんセンター	病理診断科	田口健一
国立病院機構	仙台医療センター	病理診断科	鈴木博義
国立病院機構	北海道がんセンター	病理診断科	山城勝重
国立病院機構	長崎医療センター	病理診断科	伊東正博

国立病院機構	呉医療センター・中国がんセンター病理診断科	倉岡和矢
国立病院機構	広島西医療センター 臨床検査科	立山義朗
国立病院機構	東京医療センター 臨床検査科	村田有也
国立病院機構	大阪刀根山医療センター 病理診断科	浦崎晃司
国立病院機構	函館病院 病理診断科	木村伯子
国立病院機構	茨城東病院胸部疾患・療育医療センター	南 優子

【研究の資金源】 本研究は「国立病院機構運営費交付金研究費」により実施されます。

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反についてはそれぞれの施設の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者 眞能正幸

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

臨床検査診断部 部長 眞能正幸

研究代表者

独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター
病理科 寺本典弘